

日本民俗学会 第67回年会 兵庫

第2回 サーキュラー

先般、日本民俗学会第67回年会のご案内をさしあげましたところ、約310名の参加申し込み、ならびに約120名の発表申し込みをいただきました。心よりお礼申し上げます。

さて、このほど年会の詳細が決まりましたので、第2回サーキュラーをお届けいたします。つきましては、同封いたしましたお申し込み内容をご確認の上、参加費等のお振込みや発表要旨のご提出など、期日までのお手続きを何卒よろしくお願い申し上げます。

日本民俗学会第67回年会実行委員会

目次

年会テーマ／日程／会場／アクセス	1
宿泊／昼食／プログラム／参加費等の納入について	2
研究発表要旨の提出について	3
グループ発表要旨の提出について／使用機材について	5
当日配布資料について／書籍販売について／広告の募集について	6
今後の予定／プレシンポジウム／公開シンポジウム	7
ミニシンポジウム	8

年会テーマ

世界のなかの民俗学

日程

2015年10月10日（土）・11日（日）・12日（月）

会場

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス（兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155）

アクセス

- 1) 梅田駅・神戸三宮駅から阪急神戸線に乗り、西宮北口駅で阪急今津線（宝塚行き）に乗り換えて甲東園駅下車。関西学院方面行き阪急バスで3つ目「関西学院前」下車。
- 2) JR西宮駅から阪急バス甲東園行きで「関西学院前」下車（所要約20分）。JR西宮駅からタクシーを利用される場合は、会場まで1400円程度です。

会場への経路図等は、第 3 回サーキュラーに掲載します。また、関西学院大学のホームページもご参照ください。

宿 泊

宿泊等の斡旋は行いません。各自お調べの上、お早めにお申し込みください。本年度の日程は三連休と重なっており、宿泊施設の不足が予想されますので、早めの予約をお願いいたします。宿泊地は、大阪梅田、神戸三宮が便利ですが、尼崎、新大阪、大阪空港周辺、難波、東大阪、茨木、高槻、明石等からもアクセス可能です。

昼 食

会場付近に飲食店はございません。コンビニエンスストアは大学正門前に 1 軒あります。11 日（日）の昼食については、お弁当の予約をお勧めします。

プログラム

10 月 10 日（土）

9 : 30 ~ 10 : 00	理事会
10 : 15 ~ 12 : 00	評議員会
12 : 00 ~	受付開始
13 : 00 ~ 16 : 30	公開シンポジウム「世界のなかの民俗学」
16 : 40 ~ 17 : 50	研究奨励賞授賞式・会員総会
18 : 30 ~ 20 : 30	懇親会（淡路人形浄瑠璃の上演を予定）

10 月 11 日（日）

9 : 00 ~	受付開始
9 : 30 ~ 12 : 00	研究発表・ミニシンポジウム（午前）
12 : 00 ~ 13 : 00	昼食
13 : 00 ~ 16 : 30	研究発表・ミニシンポジウム（午後）
研究発表終了後	播州の屋台祭礼見学

10 月 12 日（月）

9 : 00 ~ 16 : 00 頃	見学会 兵庫（柳田國男生家・生野銀山）コース 大阪（都市民俗）コース
--------------------	--

参加費等の納入について

年会参加費等は以下のとおりです。第 1 回サーキュラーでご案内した金額から変更されているところがあります。以下の金額が最終確定額です。

年会参加費 4000 円（当日 5000 円）

弁当代 (11 日)	1000 円 (当日申込不可)
懇親会参加費	5500 円 (当日 6000 円)・学生 4000 円 (当日も)
見学会参加費	兵庫コース：5000 円 (交通費・食事代等を含む) 大阪コース：4500 円 (食事代等を含む)

- 年会参加費・弁当代・懇親会費・見学会参加費ともに納入期限は8月7日(金)です。期日にて払込み口座を閉鎖いたしますので、以降は当日にお支払いください。
- 一度払込みいただいた参加費はいかなる理由があっても返却いたしません。あしからずご了承ください。
- 発表を申し込まれた方の場合、期日までに年会参加費を納入いただかないと、発表辞退として扱われますので、十分ご注意ください。また、申し込みの方に学会年度会費未納の方がおられます。これも8月7日までに納入されませんと、同様に扱われますので必ず納入してください。
- 参加登録をしていながら、年会参加費・弁当代・懇親会参加費・見学会参加費を払込まれずに年会を欠席された場合には、年会終了後に費用を請求させていただきます。やむを得ず参加がなくなくなった場合、その旨を10月3日(土)までにE-mailにて年会事務局に必ずご連絡ください。ご連絡いただいた方につきましては、これらの費用を請求いたしません。
- 懇親会参加への事前申し込みをされなかった方が、当日、懇親会への参加を希望される場合、受付で懇親会参加費(当日料金)をお支払いいただくことで懇親会にご参加いただけるよう準備を進める予定ですが、会場の収容人数の関係から、当日のお申し込みをお断りせざるを得ない場合があるかもしれません。この場合は、ご了承くださいますようお願いいたします。
- 懇親会費の「学生」料金は、日本民俗学会の年度会費を「学生」料金で支払っている方に適用されます。

参加費等納入方法

同封の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、下記の「ゆうちょ銀行」振替口座にお振り込みください。払込手数料につきましては、恐れ入りますがご負担願います。

【口座番号】00940-4-173622

【加入者名】日本民俗学会第67回年会実行委員会

万一、同封の「払込取扱票」を紛失された場合は、郵便局の払込用紙(青色)の通信欄に払込金額の内訳(年会参加費・弁当代・懇親会費・見学会参加費の別)を必ずご記入の上、払込んでください。

研究発表要旨の提出について

一般発表、グループ発表に申し込まれた方全員が、「研究発表登録票」と「研究発表要旨」を期日までに年会実行委員会へ提出いただく必要があります。期日までに提出されなかった場合、発表は辞退されたものとして扱われますので十分ご注意ください。

【送付期限】2015年8月8日(土)必着

- 「研究発表登録票」は、必要事項をすべて記入の上、「研究発表要旨」の打ち出し原稿と

ともに郵送してください。

- 「研究発表要旨」は以下の執筆要領を参照して作成の上、打ち出し原稿とデジタルデータの両方をご提出ください。打ち出し原稿は、「研究発表登録票」とともに同封の返信用封筒にてお送りください（切手は各自おはりください）。デジタルデータはメールの添付ファイルにて以下のアドレスまでお送りください。

【送付先アドレス】 nenkai67@fsjnet.jp

【メールタイトル】 発表要旨（発表者氏名）

【原稿ファイル名】 発表者氏名

※原稿を記録した CD や DVD など を返信用封筒に同封してお送りいただくこともできますが、できるだけメール添付でのご提出をお願いいたします。

※手書きの場合は楷書体で、原稿用紙に 1400 字以内でご記入ください。事務局でデータ化し体裁を整えさせていただきます。但し、発表者校正はございません。

発表要旨執筆要領

【ファイル形式】 Microsoft Word ファイル（doc, docx）あるいは一太郎ファイル（jtd）

【ページ設定】 A4 縦長 1 頁、横書き、40 字×40 行、余白（上下左右）25mm

【フォント】 和文：MS 明朝、英数字：Century、サイズ：10.5pt（氏名・所属等・本文）

【発表題目】 ページ最上部中央に発表題目を 12pt のフォントサイズ、**太字**で記載してください。副題がある場合は、そのすぐ下に同じく 12pt の**太字**で記載してください。副題を含め、発表題目は「研究発表登録票」記載のものと必ず一致させてください。発表題目の次の行を 1 行あけてから、発表題目の下中央に 10.5pt で氏名を記載し（姓と名の間を 1 字あけてください）、その右側にかっこ書きで所属等を記載してください（所属等の記載にあたっては、下記の「所属等の表記について」を参照してください）。

【要旨本文】 要旨本文は発表者氏名より 1 行空けて書き始めてください。フォントサイズは 10.5pt です。図表の挿入は可能ですが、写真の挿入はお控えください。なお、出来上りは白黒印刷になります。

関連事項

※一般発表は発表20分・質疑応答5分・移動5分を1ユニットとします。グループ発表については次頁を参照ください。

※発表内容は未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りすることとなります。

所属等の表記について

すでに会誌『日本民俗学』や日本民俗学会ホームページに掲載してお知らせしてありますとおり、第 29 期理事会は、2014 年 7 月 13 日に「日本民俗学会会員の属性、帰属意識の多様性の尊重に関する声明」を公表しております。

この声明にもとづき、本年度の年会から、参加登録の際の記名、名札、『研究発表要旨』、会場配布レジュメ、質疑応答等での所属・肩書き・立場性の表明は、各人の帰属意識に基づいて主体的かつ自由に表明していただくことになりました。

したがって、参加登録の際の「所属」欄をはじめ、『研究発表要旨』、会場配布レジュメ、質疑応答等での所属・肩書き・立場性の表明は、たとえば、つぎのようにお願いいたします。なお、所属・肩書き・立場性の表明は、原則としてお一人一つでお願いします。

例：山田 太郎（〇〇市立博物館）、山田 花子（〇〇大学大学院）、山田 太郎（〇〇民俗学研究会）、山田 花子（〇〇県）、山田 太郎（NPO 法人〇〇）、山田 花子（株式会社〇〇）、山田 太郎（インディペンデント・フォークロリスト）、山田 花子（〇〇大学非常勤講師）ほか。

グループ発表要旨の提出について

グループ発表の代表者は、個別の研究発表要旨とは別に、グループ発表全体についての要旨（「グループ発表要旨」）を期日までにご提出ください（書式は「研究発表要旨」と同一）。

【送付期限】2015年8月8日（土）必着

○代表者を含め、グループ発表にて発表される方は、別途、「研究発表要旨」と「研究発表登録票」の提出が必要となります。3頁の「研究発表要旨の提出について」を参照の上、お忘れなくご提出ください。

○「研究発表登録票」は、必要事項をすべて記入の上、「研究発表要旨」の打ち出し原稿とともに郵送してください。

○「グループ発表要旨」は、打ち出し原稿とデジタルデータの両方をご提出ください。打ち出し原稿の送付には、同封の返信用封筒をご利用ください（切手は各自おはりください）。デジタルデータはメールの添付ファイルにて以下のアドレスまでお送りください。

【送付先アドレス】nenkai67@fsjnet.jp

【メールタイトル】グループ発表要旨（代表者氏名）

【原稿ファイル名】代表者氏名

※原稿を記録した CD や DVD などを返信用封筒に同封してお送りいただくこともできますが、できるだけメール添付でのご提出をお願いいたします。

※手書きの場合は楷書体で、原稿用紙に 1400 字以内でご記入ください。事務局でデータ化し体裁を整えさせていただきます。但し、発表者校正はございません。

関連事項

※グループ発表の時間枠は、一律 90 分となります。枠内の時間配分は、代表者にお任せいたします。

※グループ発表には適宜、コメンテーター等を設定していただくことができます。登録は必要ございませんが、代表者の「研究発表登録票」通信欄にコメンテーター等の氏名をご記入くださればプログラムへの記載をいたします。なお、実行委員会側からの座長の配置はいたしません。

使用機材について

備え付けの機材は、PC (Windows)、PC 用液晶プロジェクター、書画カメラです。LAN の設備はございません。PC (Windows、Mac) の持ち込みも可能です。その場合は、「研究発表登録票」の使用機材欄にその旨をご記入の上、PC 本体および対応するアダプターをお持ち

ち込みください。発表の形式によっては、備え付けの PC で対応できない場合があります。

当日配布資料について

発表当日に会場で配布する資料は各自で準備しご持参ください。事前に送付されないようにお願いいたします。実行委員会でコピー、印刷の対応はできません。

書籍販売について

会場に書籍販売コーナーを設けます。販売を希望される会員・団体・業者様は、下記の要領でお申し込みください。委託販売はお受けできません。会場の都合で十分なスペースを確保できない場合も予想されます。予めご了承ください。販売は 10 月 10 日、11 日に限ります。販売場所は 1 日目と 2 日目で移動いたしますので、両日とも販売を希望される方は実行委員会の指示に従い、1 日目の総会終了後に書籍等の移動をしていただきます。

【申し込み方法】

本サーキュラーに同封の「書籍販売登録票」に記入の上、E-mail 添付 (PDF ファイル) で 9 月 18 日 (金) までに年会実行委員会事務局 (nenkai67@fsjnet.jp) 宛てにお送りください。その際のメールの件名は、「書籍販売希望 (会員・団体・会社名)」としてください。なお、「書籍販売登録票」のファイルは、年会ホームページからダウンロードすることも可能です。

【年会参加費について】

書籍販売を希望される団体・業者様で、日本民俗学会に「協賛団体」として登録をされていない団体・業者様の場合、販売員 1 名の場合、1 名分の年会参加費相当額 (4000 円) を、2 名以上の場合 2 名分の年会参加費相当額 (8000 円) を、年会の当日に受付でお支払いいただきます。また、当該刊行物の発行元の公共団体職員が販売を担当される場合 (証明できることが条件) は、販売員の人数に関わらず無料とします。なお、懇親会については、一人あたり 5500 円を参加人数分、当日、受付でお支払いいただくことにより参加可能とします。

【搬入・搬出など】

書籍の搬入・搬出方法など、詳細は、「書籍販売登録票」をお送りいただいた後にお送りする「書籍販売の手引き」でご説明いたしますので、それに従ってください。

広告の募集について

『日本民俗学会第 67 回年会研究発表要旨』 (当日配布冊子) への広告掲載を希望される方は、8 月 1 日 (土) までに年会実行委員会事務局 (nenkai67@fsjnet.jp) 宛て、メールで詳細をお問い合わせください (メールの件名は、「広告掲載の問い合わせ」としてください)。なお、年会実行委員会から「広告掲載のお願い」の文書を受けとられた団体・業者様におかれましては、このお問い合わせは不要です。

今後の予定

プレシンポジウム	7月12日(日)	関西学院大学大阪梅田キャンパスにて
参加費等納入期限	8月7日(金)	これ以降は当日料金になります。
発表要旨提出期限	8月8日(土)	
第3回サーキュラー	9月上旬発送予定	
書籍販売申し込み期限	9月18日(金)	書籍販売登録票提出

※上記参加費等のほか、2015年度学会費未納入の方は8月7日(金)までに納入をお済ませください。発表を申し込まれた方の場合、期日までに年会参加費および2015年度学会費を納入いただかないと、発表辞退として扱われますので、十分ご注意ください。会費の納入方法は、参加費等の納入方法とは異なります。詳しくは学会事務局までお問い合わせください。【学会事務局】E-mail: folklore@post.nifty.jp TEL: 03-5815-2265
なお、学会事務局の開局は月・水・金で、午前10時から午後4時までです。

プレシンポジウム(第881回日本民俗学会談話会)

テーマ	世界のなかの民俗学
日時	2015年7月12日(日) 13:30 ~ 17:00
会場	関西学院大学大阪梅田キャンパス (JR大阪駅下車10分)
発表	

「「グローバル民俗学」の構想：柳田國男の「世界民俗学」の今日的展開として」
上杉富之(成城大学)

「民俗学の脱土着化への試みと課題」
川森博司(神戸女子大学)

コメンテーター 渡邊欣雄(國學院大學)

司会 島村恭則(関西学院大学)

公開シンポジウム

日本に民俗学があるのと同様に、世界のあちこちに民俗学という学問が存在します。日本民俗学の草創期、柳田國男は海外、とりわけヨーロッパの民俗学の動向を十分把握した上で、日本の民俗学の樹立につとめました。その後、日本の民俗学は、国内において独自の展開をみることとなりましたが、一方、世界各地の民俗学も、それぞれの国において発展をして今日に至っています。このシンポジウムでは、日本と世界の民俗学の新たなあり方を、世界各地の民俗学の動向を視野に入れながら模索してゆくべく、ドイツ、アメリカから世界民俗学の第一線で活躍している民俗学者を招聘し、「世界のなかの民俗学」について考えます。日本民俗学再活性化へのヒントが得られるシンポジウムをめざします。

テーマ	世界のなかの民俗学
日時	2015年10月10日(土) 13:00~16:30
会場	関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

基調講演

「過去の大志と現在の必要：変容する政体における民俗学」

レギーナ・ベンディクス（独・ゲッティンゲン大学）

「アメリカ民俗学から見た日本民俗学」

マイケル・フォスター（米・インディアナ大学）

コメンテーター

桑山敬己（北海道大学）・山田仁史（東北大学）

山 泰幸（関西学院大学）

司 会

島村恭則（関西学院大学）

レギーナ・ベンディクス氏の講演は、英語（日本語字幕付き）で行われます。

ミニシンポジウム

年会 2 日目の 10 月 11 日（日）、一般研究発表と並行して、以下の 4 つのミニシンポジウム（実行委員会企画）を開催します。

1. 「日本のなかの東アジア、東アジアのなかの日本：民俗学から多文化を考える」
コーディネーター：松尾恒一（国立歴史民俗博物館）
2. 「拡大する民俗学：近現代史をとりこむ試み」
コーディネーター：高岡弘幸（福岡大学）
3. 「日本民俗学と妖怪・怪異伝承研究」
コーディネーター：大江 篤（園田学園女子大学）
4. 「フォークライフ（民俗生活）の再文脈化」
コーディネーター：小田島建己（東北大学）

各ミニシンポジウムの趣旨、登壇者名、個別報告タイトルについては、年会ホームページをご参照ください。

日本民俗学会第 67 回年会実行委員会

関西学院大学社会学部 島村恭則 研究室 気付

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

Tel 0798-54-6192 Fax 0798-51-0955

E-mail: nenkai67@fsjnet.jp URL: <http://www.nenkai.fsjnet.jp/>